

2019年4月

学園通信



帝京ロンドン学園
Teikyo School
Framewood road,
Wexham,
Buckinghamshire
SL2 4QS

入学式 4月12日(金) 式辞 校長 中山 理



新入生のみなさん、入学おめでとうございます。帝京ロンドン学園を代表して、皆さんを歓迎致します。また、ご列席の保護者の皆様にも心よりお慶び申し上げます。

本日は、2019年度の入学式を挙げるにあたり、ご多用中の処、帝京大学ダラム分校の今関雅夫校長先生を初め、近隣の教会のNatasha Brady 牧師様のご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

青々と若葉が芽吹いた穏やかな春の佳き日、本日は、これから3年間のスタートである記念すべき日です。また今年は5月からですが、日本の年号が「令和」になります。君たちは「平成」最後の入学生であると共に、「令和」の年の初めての1年生でもあります。この輝かしい門出に当たり、皆さんに考えて欲しい事について少しお話させていただきます。

皆さんは高校生になりました。そしてイギリスに来ました。高校生は中学生と違い、少し大人に近づいてきましたが、まだ大人ではありません。良い大人を見習って将来立派な人になるように、この学校でしっかり勉強してください。勉強と言うと、いやだなあと思う人も居るかも知れません。しかし勉強とは何でしょうか。数学や英語の点を取る為にやる事ばかりが勉強ではありません。それも勉強には違いありませんが、自分の知らない事を知るようになるプロセスも勉強です。自分の出来ない事が出来るようになるプロセスも勉強です。自分の解らない事が分かるようになるプロセスも勉強です。知らない事を知ると「あっそうか、そういうことか」と嬉しくなるでしょう。出来ない事が出来るようになるのも嬉しい事です。今まであまり泳げなかった人がすいすい泳げるようになれば、それはとても嬉しい事です。解らない事が分かることも、「あっ、分かった分かった」と嬉しくなるでしょう。即ち勉強と言うのは嬉しい事なのです。解らない事があれば、この学校のそれぞれの専門の先生に伺って、分かるようにしてください。

また、イギリスは皆さんもご存知の通り、議会制民主主義を始めた国であり、産業革命で世の中を変えた国でもあります。スポーツでも、サッカーでもテニスでもクリケットでも、世界で最初にやり始めた国であり、新しい事をいろいろ生み出してきた国です。この国から学ぶべき事は多いと思います。皆さんはこのイギリスで勉強するのです。皆さんは4月には遠足でロンドン市内を見て回ります。5月にはイギリスの家庭でホームステイをします。6月にはJapanese Dayがあり、7月にはWimbledonでテニスを見る予定になっています。学年が進むにつれてイギリスの近くのフランスやドイツ、イタリア、スペインなどにも行って勉強すると思います。それも皆勉強です。この学校でいろいろな勉強をして、皆さんは世界の将来を担うような立派な人に育てていただきたいと思います。

イギリスは、古くからある伝統を大切にする一方で、新しいものをどんどん生み出していき力強さも持ち合わせています。どの人にもいろいろな夢があると思います。それぞれの人の夢に向かって逃げずに考えて欲しいと思います。今後自分はどうに進みたいのか。自分の夢は何なのか、自分はどのような人に成りたいのか。先生や友達と話し合っ、今の歳で、この地でしか出来ない事を考えて、この学校で学んで良かったと思えるようになっていただきたいと思います。

私達も大切なお子様方をお預かりして、この学園で学ばせて良かったと思えるように教職員一同、肝に銘じて見守りたいと思っています。どうぞご安心ください。本日のご入学、誠におめでとうございます。



入学式にご出席いただいた来賓

帝京大学ダラム分校
校長 今関 雅夫様

Stoke Poges Parish
Reverend Natasha Brady 様



帝京大学ダラム分校校長 今関雅夫様による祝辞（訳）

ご列席の皆様、新入生の皆様とご家族の皆様、私は今関雅夫と申します。帝京大学ダラムキャンパス校長として本日ここに列席させていただき大変光栄に存じます。

まず初めに、皆様に心よりお祝いを申し上げます。

私は歴史的記念碑や建造物があり、中世イングランドの町並みが今も残るダラムから参りました。ダラムにはまた、イングランド地方で3番目に古いダラム大学があります。この大学の入学式は Matriculation Ceremony と呼ばれていますが、それは、この式典を以って、学生は新たに、そして正式に大学に名前が登録されるということの意味しています。換言すれば、学生は大学という、またカレッジというコミュニティの一員になるということです。同様に、本日の式典を通して、皆さんは帝京ロンドン学園というコミュニティの一員になるのです。

コミュニティの一員として、もちろん学校の規則に従わなければなりません、と同時に、新たにできた友人と、また新たに出会った教員と、共にコミュニティ・ライフを楽しむことができます。私は皆さんに一生懸命勉学に励んでいただきたいと願う一方、クラブ活動、学校行事、小旅行などの様々な活動にも積極的に、前向きに参加してほしいと思っています。そうすることによって、人間的により大きく成長することが可能でしょうし、新たなものの見方、新たな価値観を得ることができます。

帝京ロンドン学園というコミュニティは、実学、国際性、開放性という3つの教育指針を掲げる帝京大学グループに属する多くのコミュニティの一つでもあります。

新入生の皆さんはイギリスにいるのですから、今までとは異なった、地球的視野に立って、心を開き、今現在学んでいる言語(英語)で、世界を見る機会を持っています。言い換えると、帝京大学グループが掲げる3つの重要な指針を体現できるそんな幸運な環境にいるのです。



英語を学ぶことは重要ですし、よい英語の使い手になることを主目標にすべきでしょう。しかし、それだけではなく、この競争社会で生き抜くためにもこの学校が提供するあらゆる科目に秀でる努力をし、より協調性を増すにはどうしたらよいかを学ぶ努力をすることにも頑張ってもらいたいと思います。

私はダラムに住んで5年近くになりますが、日本では経験できないようなことを経験してきました。つまり、たくさんの思いもよらないほど素晴らしい経験をしてきました。多くの素敵で、ラッキーな出来事と遭遇してきました。これらの素晴らしい出来事がイギリスでの私の生活をとてもユニークで、他とは違った、面白いものにしてきています。高校生である皆さんにも同様の素晴らしい出会いがあることを願っています。

ダラム大学はイングランド地方で3番目に古い大学と前に申しましたが、それだけではなく、世界トップ100にランクしている大学であることを付け加えたいと思います。ここにいる皆さんの中に3年後この大学に入学を許可される学生ができることを願っています。ダラムでお会いしたいと存じます。勉強と同様、帝京ロンドン学園が提供する、人生において意味ある、重要な活動すべてに全力で打ち込んでいただきたいと思います。勉学において、また、将来の人生において、成功されますことを祈念して、私からの祝辞と代えさせていただきます。



ブレイディー牧師による祝辞（訳）

ご存知でないと思いますが、私自身もこの地域に引っ越してきたばかりで、皆様と同様新しい馴染みのない場所に移り住むというのが、どれだけ難しいかが身をもって分かります。それ故にこのような特別な式典にご招待いただいたことを、非常に嬉しく思っております。

ストークポージーズ教会と帝京ロンドン学園は長い間お互いに近所に存在しているにもかかわらず、ほんの最近まで関わりがありませんでした。帝京のリチャード先生と本教会の実習生のトレイシーさんのお陰で私たちはようやく素晴らしい関係を始めることが出来ました。ご存知かもしれませんが、私たちの教会は二つの建物があり、ひとつはセントアンドリュース教会で、毎日多くの人に利用されています。もうひとつはセントジャイル教会で、この建物は千年の歴史があり、多くの人々はこの建物の美しさや静寂さに引かれてやってきます。人々はこの美しい教会で静かに座り時間を過ごすのです。

帝京ロンドン学園との関係は2017年にユースクラブとの日本のクラフト&ゲームの夕べから始まりました。帝京ロンドン学園は私たちの村に新しい息吹きを吹き込み、異文化の味わい方を教えてくれました。それから機会があるごとに交流を続けています。私たちはこれからも末永く続いていく友情を育んでいくのが楽しみです。

2学期に帝京ロンドン学園では緑舎祭がありこの近所の多くの人々が、様々な日本文化を体験し、生徒と話をする体験が出来ます。太鼓の演奏もあって、その演奏がどれだけ素晴らしく太鼓の音を最後まで聞いていた、と教会に来た女性が語ってくれました。

第一次世界大戦終戦記念は2018年の一年中を通して大きなイベントでしたが、私が丁度この教会で仕事を始めた時の終戦記念サンデーに帝京ロンドン学園の校長先生を始め、先生や生徒が参加してくれたことは本当に思い出深い出来事でした。生徒たちはチャリティーのために紅茶やクッキーをだして接客もしてくれました。この前向きな帝京ロンドン学園の姿勢は私たち教会や村にとっても意味深いことです。

秋には教会の庭にたくさんの枯葉が落ちます。帝京ロンドン学園の生徒は去年枯葉集めに参加してくれました。労働の後ココアを飲んだりして参加者と楽しく交流。今年は早く枯葉が落ちて、手押し車に山盛りの枯葉が集められることを願っています。私たち地域の者にとっては、冷たい空気の中での落ち葉集めは素敵なイベントなのです。

私たちは帝京ロンドン学園と交流を深められることを喜ばしく思っています。こうして新しい生徒を迎えられることは本当に嬉しいことです。更に地域と一体になって頑張りましょう。

後援会会長よりの祝辞

後援会会長の小林様よりご祝辞をいただきました。

新入生の皆様、帝京ロンドン学園へのご入学、おめでとうございます。

今日から新生活がスタートしますが、皆さんはどのような高校生活を描いていますか。親元から離れ、イギリスでの初めての生活は、不安も期待も両方大きいと思います。

高校生活三年間ありますが、今は長く余裕あるものを感じているかもしれませんが、人生の基礎をつくる大切な三年間ですので、どうか、「なんとなく」過ごさないでください。三年後の自分を想像してみてください。「三年もある」のではなく、「三年しかない」という気持ちで、一日一日を大切に過ごしてください。きっと、三年後に誇らしく充実した笑顔で未来へ羽ばたいていけることでしょう。是非恵まれた環境を活かして、皆さんが持っている才能・能力を開花させて欲しいと願っています。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございませう。異国の地での生活に心配と不安を抱いていらっしゃると思います。わたくしも一年前、そうでした。まだ一年ですが、あっという間に過ぎてしまい、子どもたちの成長にも既に驚いています。先生方、先輩方、同級生に支えて戴き、日々感謝しています。

後援会は皆様と共に子どもたちを見守り、学園との梯子役として、活動して参ります。後援会活動への皆様のご理解ご協力戴きます様、お願い申し上げます。

新入生の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

生徒会より歓迎の言葉

新入生の皆さん、この度はご入学おめでとうございます。在校生を代表して歓迎の言葉を申し上げます。

この帝京ロンドン学園は、日本から飛行機で約 12 時間の位置にあり、英語や英文化に直接触れ、たくさんのお話を学ぶことができます。さらに、生徒の大半が寮生活を送っていることもあり生徒同士の距離が近く、時には揉めることもありますが、とてもいい関係が築けると思います。

しかし、新入生の皆さんは、この学園での生活に大きな期待を持つ一方で、イギリスでの生活に大きな不安を感じていることだと思います。はじめのうちはわからないことが多く悩むこともあるかと思いますが、ここにいる私たちに気軽に話しかけてください。この学園での生活をより良い物にするために、何事にも挑戦してみてください。

イギリスに来て英語を使う機会が増えますが、英語力は自然に伸びるものではありません。交流会に参加したり、長期休暇中のホームステイや部活動、学校行事などに積極的に参加して、自分から進んで勉強して欲しいと思います。

また、みなさんが思う以上に高校生活の 3 年間はあっという間に過ぎてしまいます。ここでの 3 年間で後悔の無いように有意義なものにしてください。

最後に皆さんがこの学園に 1 日でも早く馴染めるように応援していきたいです。

本日はご入学誠にありがとうございます。



Congratulations to all the new students and their parents.

Welcome to Teikyo School. My name is Haru Nakada. I am the president of the student union.

We know you must come here filled with worry and hope about what the next three years will hold for you. Don't worry, we also felt the same on our first day here. However, these years will be a precious time for you.

In Teikyo School we have a chance to do many things that would be impossible if you were in Japan. We can learn about the history and the culture of Europe from textbooks and you will then be able to visit many of these places and see them with your own eyes.

Here, you have many opportunities to learn new things and grow as a person. You can improve your English by doing a homestay. You can learn new skills by doing voluntary work. Or, you can start a new hobby by joining a local club. But, you must make an effort to do these things. If you work hard, your confidence in English and your courage will grow. If you don't try and don't work hard, your English will not improve and there will be little meaning in coming to England. So try your best to speak English and try to communicate with local people and your time here will be very rewarding.

Three years sounds long but it is going to pass quickly. Today your Teikyo life begins and I hope you will have a wonderful experience in England.

Once again, congratulations and welcome.



新入生代表挨拶

暖かな春の訪れと共に、私たち 14 名は帝京ロンドン学園の 1 年生として入学式を迎えることができました。緊張しながら校門を入りましたが、先輩や先生方の励ましの言葉に緊張よりも期待が大きくなりました。

私たちは英国の地で、日本では味わうことのできない非常に貴重な経験を積み、幅広く、深い知識や技術を身につけていきたいと思えます。

特に、私は実践的な英語を学び、自分たち個人の英語力を向上させたいです。また歴史ある英国の文化に触れ、グローバルな視野を養ってきたいです。

そして常に相手の立場になり、考え、発言し、お互いが良きライバル、良き理解者でいられるよう広い心を失わないよう、帝京ロンドン学園の生徒として、誇りを持ち、責任のある行動がとれるよう、自らを向上させていきます。

新しい環境で様々なことに挑戦するに当たり、苦しいことや迷うことがあるかもしれませんが、しかし、そんな時は仲間と協力しあい、先生方や先輩方の助けをお借りしながら乗り越えていきたいと思えます。どうぞ温かいご指導をよろしく願います。

最後になりますが、高校に入学し、目標に向けて挑戦できるのは両親おかげです。これから 3 年間、感謝の気持ちを忘れずに、目標や夢に向かって一生懸命努力していきます。

My name is Mana Komata. I am a representative of the first year students.

We are very glad to become a member of TEIKYO SCHOOL UK today.

When I saw the old school building, I realized that our new school life will start soon.

We may feel nervous about new environment, but on the other hand, we are really looking forward to making new friends and having a new school life.

We want to acquire a deep and wide knowledge or skills here in the UK which cannot be obtained in Japan.

Especially, I'd like to learn practical English in order to make my English skills better.

We will also learn the British culture and histories, this will expand our international vision more and more.

We will try various things so sometimes we may be in trouble.

We want to overcome by cooperating with our friends and having the support of teachers and our seniors.

We can be here because of our parents. We don't want to forget the feelings of gratitude. We will make a lot of effort in order to achieve our aims and dreams.

Thank you for listening.



学園の日々より

遠足 4月15日(月)

1年ロンドン市内観光バス

1年生全員でロンドン観光に出かけてきました。多くの観光地を車窓から眺めたり、歩いたりして見て回り、レオナルド・ダ・ヴィンチ、モネ、ターナーの絵も見ることができました。中学校の時に社会や美術の教科書で見たことがあるものを実際に見ることができた、という感想が多く聞かれました。また、ナショナルギャラリーで「9日間の女王」のレディー・ジェーン・グレイの処刑の絵を見た後、実際に処刑が行われたロンドン塔に行くことで一層印象に残った生徒もいたようです。

文化財や史跡を見ることは歴史上のある1点を学ぶことで終わることもありますが、このように多くのものを線としてつないでいくと、深い理解となり、ますます興味や好奇心が刺激されるものだと感じました。(谷地館)

ロンドンの芸術に触れて

バスに揺られながら向かった先はロンドンの様々な観光名所。この日は晴れていて観光するには最高の天気でした。また、以前、行ったことのある所も、今回はクラスの皆と回ることができて、とても楽しい一日でした。

いろんな観光名所を見してきましたが、その中でも私が一番心に残っている場所は、芸術に溢れているナショナルギャラリーです。一つ一つの絵からその絵に込められた思いなどが伝わってきて、とても印象に残りました。

今回の学習を終えて、今まであまり感じたことのない魅力を発見したり、感じたりすることができてよかったです。これからも様々な絵画やそれを描いた人物について深く知り、美術に興味を持っていろんなことを吸収していきたいと思います。また、クラスの皆との距離も縮められたので良かったです。この日は私にとってとても心に残るロンドン観光になりました。



遠足

ロンドン一日観光で歴史に関する理解と興味を深めることができました。特に印象に残ったのはナショナルギャラリーで絵画を見たことです。その中でもレディー・ジェーン・グレイの処刑には目を奪われました。陰と陽がはっきりしているためか、絵画を見ていて私もその場にいるような気持ちになりました。絵画は後世の人間に状況を再現し、歴史を残す手段だと考えました。歴史を大切にするイギリス人の考えをより深く理解することができました。

絵画や美術を残し、後世の人たちがそれを受け継いでいくということは素晴らしいことです。そして私には何が出来るのかと考えてみました。今を生きるからこそ、他人任せにせず、自分に出来ることを考えることでシステムが強く機能すると思いました。まだ答えは出ていませんが、とても興味が湧きました。

2・3年 国会議事堂ツアー ナショナルギャラリー見学

今学期最初の遠足は国会議事堂とナショナルギャラリーに出かけました。現在 EU 離脱問題で揉めている国会なので、議事堂内に入ることが中止になりはしないかと懸念していましたが、無事4組に分かれ、ガイド付きでツアーを終えることが出来ました。庶民院 House of Commons の緑色の絨毯と椅子は最近テレビ中継で良く見ることがありますが、貴族院 House of Lords の赤と金色の内装を見た時は皆が喚声を上げていました。国会には一般人も希望すれば参加できるので、滞在中に政治家 MP の人たちの働く姿を見に来るようにガイドさんにも勧められました。その後ナショナルギャラリーに行き、有名な絵画を皆で鑑賞しました。政治についても美術についても、こういった機会から色々なことに興味を持ち、更に目を見開いて自主的に英国の生活を謳歌して欲しいと強く感じます。そのためにもこの学園でならでの課外授業を今後も出来るだけ多く行っていきたいです。

余談ですが、この日は環境保存を目的とする団体のデモが行われていて、あちこちの道が閉鎖されていて、帰りが少し遅れました。2週間を予定して行なわれている過激なデモ行為のために、ロンドン市内の交通が麻痺してしまい、現在英国中でトップニュースになっています。個人の発言の自由が優先される英国ならではの貴重な体験をも目の当たりに出来た遠足となりました。(久保)



春休みのホームステイ&語学学校レポート

希望する生徒が春休みに、現地校(Burnham Grammar School)&ホームステイ、ブライトン・ケンブリッジでの語学学校&ホームステイに参加しました。参加者の英語による報告書をご覧ください。

K2 I went to Brighton for a month. It is the second time for me so I was looking forward to this home stay. But it also made me nervous.

I took 3 classes at language school. In the morning, I studied English grammar. And in the afternoon, I took a class for English conversation. There were no Japanese people, therefore I have to speak in English at language school. Almost all the students were over 20 years old. It is sometimes hard for me to talk with other students.

One day in the afternoon class, we talked about the politics of United Kingdom and each of the countries. I didn't have an opinion. Not only that, I didn't know about politics in Japan. I was really embarrassed because everybody was able to join the conversation with personal opinion.

I again realized I should know more about my country and it is important to have our own opinion.

And now I write about my host family. Actually, my family was the same as last summer so I saw my host family for first time in 8 months. Her name is Maria. She was very kind and talkative. We talked about the day's events, when we are eating dinner. That time was very fun.

K3 I did homestay in Brighton 4 times. But, I did not have classmates from Teikyo this home stay. So, I spoke English a lot more than before, I made a lot friends and I ate food with my friends. If I do a home stay alone, I feel like this. I could learn a lot things. I was able to enjoy this homestay. I want to improve my English score and pass English examination. I cannot write English sentence so I want to be better at writing English. And I should study a lot.



K3

I did a homestay for two weeks in Cambridge. It was the first time to do a homestay in Cambridge. My host family was very kind and we ate dinner together every time. When I could not understand their English they explained it in simple English. And we spoke a lot about Japan. So, I had many chances speak English. I usually speak English only at school before when I did homestay. So, it was very good experience for me. Also, my host family taught me about famous places in Cambridge. So, I went to famous place after school. It was fun.

Language school students are very kind and friendly. They talked to me. And, they spoke native language many time in my classroom. I could hear many different languages. It was different accent. So, I could not understand. But, it was very interesting. After school, I went to drink bubble tea with my classmates. The boy did not like it. It was so much fun. So, I thought I want to go to school and I did not feel boring. I could spend good two weeks. This homestay was the best homestay.

K3

I did homestay for a week in spring holiday. I usually go to language school in holiday but this time , I went to Burnham Grammar school because I want to experience the local school on the U.K.

Firstly, I was worried about the school because I did not know everything and I think I can not understand lesson in English however the students were kind of me so I can know about Burnham Grammar school. Lessons were difficult to understand in English. Especially, mathematics was so difficult but I had a lot of mathematics lessons. It was too hard.

This experience became good opportunity to improve my English skills because I spoke English all day. If I went to Brighton, I might speak Japanese with my friends. This homestay made me tired on the other hand, I could enjoy for a week and I could enjoy school.



サッカーコース・部より

2019年度の活動が始動しました。今年度は現在のところ17名でスタートすることになりました。昨年度は Buckinghamshire 州大会では準決勝で敗退という悔しい結果に終わりましたが、新しいメンバーも加わり更なる飛躍を志していきたいと思えます。今年度は昨年度と違い、1学期から対外チームとの試合があり、春休みでの取り組み、サッカーキャンプ参加生徒たちの成長ぶりを見られることを期待しています。まだまだ、始動したばかりのため息が合わない部分もありますが、コミュニケーションを取りながら徐々に高めていきたいと思えます。また1年生にとっては初めての帝京ロンドンでの活動になり、英語、天然芝、イギリスサッカーなど慣れないこともたくさんあると思えますが、スタッフも含めてチーム全員で協力して頑張っていきたいと思います。保護者の皆様には今年度も多方面でサポートしていただくことがあると思えますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。（三谷）



寮より



寮監長

今年度、寮監長を務めさせていただき、山田剛と申します。帝京ロンドン学園は今年で6年目になります。家族と遠く離れた状態での寮生活は、本人もご家族の方々も不安な面もあるかと思いますが、出来るだけそういった心配がないよう生徒たちを見ていきたいと思っております。男子寮監長、女子寮監長と力を合わせながら頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。(山田)

男子寮

4月10日新入生6名を迎え開寮、計37名の寮生となります。今年も男子寮監長として寮を担当いたします岩泉です。よろしくお願ひいたします。開寮してまだ1週間足らずですが新入生もだいぶ寮の雰囲気慣れた感じです。慣れない洗濯機の使い方も上級生に教わりながら自分でやっています。1日も早く慣れ、楽しい寮生活を送ってください。先学期後半から時間にルーズなところが多々見られましたが、メリハリをつけて寮生活を送ってもらいたいと思います。(岩泉)



女子寮

5名の新転入生を迎え、全15名で新年度をスタートしました。私は今年度から女子寮監長に着任し、寮生のみならず過ごす時間がさらに増えることを嬉しく思っています。先日は女子寮生会がおこなわれ、全員が自己紹介をしました。また、寮長の池田さんからの話に「積極的に挨拶をしよう」という内容がありました。挨拶をすることは良好な人間関係を築く最初の一步です。寮生活の中では自立性を養うとともに友達と楽しいことも苦しいことも分かち合いながら、生涯付き合い合っていけるような関係を築いてほしいと思います。私も全員が快適に過ごせるように、全力でサポートしていきたいと思ひます。(千晶)

